

こんにちは！  
めぐりん菜通信をお読みいただきありがとうございます。

今月号は「おつけもの若菜 機器設置」「秋の野菜・果物」の記事をお届けします。

日照不足と台風で農作物への被害が発生しています。これが自然が相手のつらいところ。一方野菜の高騰も気がかかります。  
(担当:齊藤)

### おつけもの若菜 機器設置

(株)若菜様にて野菜処理機の設置が進んでいます。お客様が留意されたことは、作業負担の軽減・効率化。コストダウン、衛生環境の改善とともに、機器を使用するメリットの1つです。



今まで工場内から漬物樽に入れ排出し、1トン枡にて保管していた作業を、樽から直接処理機に投入します。

ステージ付き階段を設置することにより、手前よりリフトで漬物樽を昇降し階段から上った作業員が投入作業を実施します。



併せて、1回/10日、約1割になった減量済み残渣は、排出口より1トン枡に直接排出し、リサイクル処理をします。  
枡の保管がなくなることにより、フードデフェンスに繋がるとともに有効スペースが生み出されます。



### 秋の野菜・果物

高い空と柿。  
秋ののどかな風景です。



三河沿岸部では、台風で巻き上げられた塩水により、葉が枯れ、概して不良の作柄とされています。

浜松は大根の大産地です。ここ三河では見られない壮観な大根畑が延々と広がります。



11月から収穫開始、生はもちろんのこと、保存のできる切干、沢庵にも加工されます。

めぐりん菜たい肥で育てた落花生の収穫が始まっています。

長雨により実入りの不良率が高くなってしまいましたが、初めての収穫の喜びは変わりません。



ゆで落花生、さや煎り落花生に加工され、提携農家様の経営するカフェで販売されます。